

実践例 宇都宮市立宝木中学校

教科・科目等 社会科・公民分野（3学年 32名）

本時の目標

日本の政治参加の現状について理解し、女性の政治参加の現状から今後の政治参加や制度について考察し、表現することができる。

育てたい資質・能力等

女性をとりまく政治参加の現状を理解する。（知性）

教材

- 教科書 ・ワークシート ・タブレット
- 学習教材「人権の窓」（男女平等編・中学生用）

展開

- 「衆議院議員選挙の年代別投票率」「有権者と実際に投票した人の年代別割合」のグラフを提示し、日本の政治参加の現状について確認する。
- 政治参加の現状を踏まえ、政治家の立場からどの世代に向けた政策を立てるかを考える。
- 学習教材「人権の窓」（男女平等編・中学生用）使って、ジェンダー平等や世界の中の日本のジェンダーギャップ指数などについて知る。
- 女性の政治参加を進めるために、どのような行動・制度が必要か調べてまとめる。
- 本時の学習を振り返り、多様な立場からの意見を取り入れられる政治の実現のために必要なことについて記入する。

Q日本のジェンダーギャップ指数にはどんな特徴があるのだろうか。

ジェンダーギャップ指数の各国の順位は、
経済 教育 健康 政治 の4分野の
合計点で算出されています。

↑上の項目をクリックしてみましょう。
日本におけるそれぞれの分野について詳しく説明しています。

グラフをみるポイントQ
それぞれの分野の点数をグラフに表し、
四角形にすることで、4つの分野の点数の
バランスを比べやすくなっています。
日本とアイスランドのグラフの影やパ
ランスを比べてみましょう。

次へ

経済と政治で大きくジェンダー
ギャップ指数の差が生まれてしまっている。

Qどのような制度や自分たちの取り組みがあればより多様な意見が政治に取り入れられるのだろうか。

制度

探るポイント
性的政治参加が進んでいる国と日本の制度を比較して
みよう。（選挙制度・働きやすい仕組みなど）

アイスランド、ノルウェー
・国会議員の過半数が女性である。
政教による自主的な取り組みと、長年
にわたるジェンダー平等の意識の高さ
が背景にある
・クオータ制
社会的・歴史的な背景により不利益を
被ってきた集団（特に政治分野におけ
る女性など）の参画を促進し、格差を
是正するために、議席や候補者、役職
などの一定割合をあらかじめ割り当
てる制度

自分たちの取り組み

- ・女性だから、男性だからと比べない
- ・女性国会議員に偏見を持たない



学習の様子